



HIPRACに設置されている高精度放射線治療機器の紹介

朝夕には秋風が感じられるようになってまいりました。皆様お変わりなくお過ごしのことと存じます。HIPRACではセンター施設引き渡しが8月31日に無事終了し、10月1日開院に向けて皆一丸となって頑張っております。今回はHIPRACに設置されている高精度放射線治療機器をご紹介します。



三菱重工製
Vero-4DRT



Varian社製
True Beam



Varian社製
True Beam STx

広島：観音の三菱重工業で作っている、唯一国産の放射線治療器です。リング状の外枠に組み込まれている放射線の射出部には、追尾照射機能が搭載されており、腫瘍の呼吸性移動に追従した照射（動体追尾照射）が出来ます。

放射線を照射する速さが従来の2～3倍であり、短時間での高精度放射線治療が可能です。照射したい部位が比較的に広い場合には、この治療器を使用します。大学病院にも同様の機械が設置されています。

True Beamの機能に加えて、放射線の射出部に2.5mm厚のマルチリーフコリメーターを搭載し、照射野サイズが1.5cmx1.5cm程度の非常に小さな腫瘍に対してもピンポイントで治療が出来るようになりました。

Vero-4DRTとTrue Beam STxには0.1mm精度の位置決めを短時間で可能にするExacTracという画像照合と、それに伴う治療台の細かな軸調整（平行移動に加えて回転方向も）が可能であり、高精度を担保するにふさわしい治療器になっています。

さらに、Vero-4DRTの動体追尾照射は、呼吸などにより揺れ動く腫瘍をリアルタイムにモニタリングしながら追尾し、狙った病巣のみをピンポイントで連続照射出来ますので、患者さんの治療時の負担が非常に軽減される画期的な新技術です。京大や神戸の先端医療センターを中心として臨床応用が進んだこの技術を、当院でも十分な技術検証を経て臨床導入しようと思っております。

HIPRACは、高精度放射線治療を必要とする多くの患者さんに、迅速かつ適切で丁寧な放射線治療が提供できるように、万全の体制を整えています。次回は具体的な疾患および照射方法について紹介します。

HIPRAC施設引き渡しが完了



8月31日に施設引き渡しが無事終了致しました。左の写真のように、正面玄関の自動扉入ってすぐの壁面には大理石の装飾の上にテーマカラーである

銀色でセンター名が表示されています。上からのスポットライトがたいへん雰囲気良く、非常にスマートな作りとなっています。是非、みなさんも来院された際にはご覧になってください。

HIPRAC事務室からのお知らせ

9月26日（土）に、記念式典・内覧会（午前10時～）、施設案内会（午後1時～）を開催させていただきましたこととなりました。詳細等は送付致しました案内書をご確認頂くか、下記連絡先までご連絡ください。皆様のお越しを心よりお待ちしております。

HIPRACホームページが完成！

HIPRACを紹介するホームページが完成しました。
<http://hiprac.com/>
是非、みなさん、一度立ち寄ってみてください。今後も随時内容更新していきますので楽しみに！



HIPRAC勤務のスタッフより一言リレー②

副センター長として9月1日に新しく赴任しました。開院までのカウントダウンもいよいよ大詰めの日々です。10月1日の診療開始に向けてしっかりと準備を進めて参ります。県民の皆様最高の放射線治療を提供できるように努めます。
副センター長：権丈 雅浩



HIPRACに関する疑問点（診療上のこと、放射線治療のこと、その他なんでも）がありましたら、下記メールもしくはお電話お願いします。

E mail: office@hiprac.jp

Tel: 082-263-1330（開設準備室が移転し電話番号が変更になりました）



広島がん高精度放射線治療センター